

ナイスケアだより

第168号 令和8年5月発行

ホームページ



Instagram



介護の仕事といえば、ご自宅での直接的なケアをイメージされる方が多いかもしれません。また、相談業務についても、「相手の困りごとに対して解決策を検討し、導き出す仕事」という印象が強いのではないのでしょうか。しかし実際には、日々の記録や関係機関との連絡調整といった「事務ワーク」が多く、そこに多くの時間が割かれているのが現状です。国(厚生労働省)からも、人材不足に対応するための業務効率化が強く求められています。

私たちナイスケアとして、記録にかける時間を削減し、その分「ご利用者、ご家族の皆様と向き合い、お話を伺う時間」を何よりも大切にしたいと考えました。また、記録業務によるスタッフの残業を減らし、心身ともに余裕を持ってケアに臨める環境をつくるため、デジタル技術を活用した新たなチャレンジを開始いたします。

具体的には、「AI 搭載型記録システム」を新たに購入しました。さらに、厚生労働省が推奨する「ケアプランデータ連携システム」も導入し、すでに他事業所様との間で書類の電子やり取りを開始しています。

まだまだ始めたばかりで慣れない面がありますがシステムという便利な道具を上手に活用し、業務を効率化することで、これまで以上に手厚く、温かみのあるケアをお届けできるように取り組んでいきます。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～梅雨～

初夏の風もすがすがしく、連休も終わりだんだんと夏を感じさせる陽気の日が増えてきました。今年の梅雨入りは例年より早いようで、沖縄・奄美で5月初めに梅雨入りとなったとのこと。また梅雨明けは例年より少し遅くなるみたいと予報されています。

梅雨というと憂鬱に感じられる方も多いかもしれませんが、この時期は「準備の大切さ」を改めて考えるいい機会になると思います。

傘やカッパなどの雨具の持参、時間を考えて動くなどこうした準備が雨の日を快適に過ごすカギになると思います。仕事や日常生活でも、何事にもトラブルが起きる前の準備、資料整理や片付けの段取りなど日頃の準備があるからこそ、急な変化などにも柔軟に対応出来たりすると思います。

梅雨の季節を迎えるのにあたり、日頃からの準備を万端にして、どんな雨にも負けない日にしていきましょう。

荒井 亮介